

**2002年3月期決算ならびに
2003年3月期及び今後の経営計画について**

**2002年5月29日
株式会社セゾン情報システムズ**

■ 2002年3月期決算について

2002年3月期(2001/4～2002/3)

決算概要(連結)

- **過去最高** 売上高、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも過去最高。
- **売 上** 売上高が初めて200億円突破。前期比7.4%の伸長。
- **利 益** 営業利益46.4%、経常利益46.6%、当期純利益77.9%の大幅伸長。
- **利 益 率** 経営目標指標とする経常利益率は、前期比2.4ポイントの大幅改善で9.0%に。

連 結		A 当期 2002/3	B 前期 2001/3	A/B－1 対前期 増減率	C 直近予想	A/C－1 対直近予想 増減率
売上高	百万円	20,820	19,393	+7.4%	21,464	- 3.0%
売上総利益	百万円	5,176	4,186	+23.6%	—	—
営業利益	百万円	1,849	1,263	+46.4%	—	—
経常利益	百万円	1,876	1,280	+46.6%	1,796	+4.5%
当期純利益	百万円	947	532	+77.9%	870	+8.9%
当期純利益／株	円	117.04	65.79	+77.9%	107.48	+8.9%
経常利益率	%	9.0	6.6	+2.4P	—	—

2002年3月期(2001/4～2002/3) 決算概要(個別)

- 売上 売上高が個別でもはじめて200億円を突破。前期比4.9%の伸長。
■利益 営業利益37.5%増、経常利益37.9%増、当期純利益55.1%増の大幅伸長。

< ご 参 考 >

個 別		A 当期 2002/3	B 前期 2001/3	A/B－1 対前期 増減率	C 直近予想	A/C－1 対直近予想 増減率
売上高	百万円	20,150	19,202	+4.9%	20,411	- 1.3%
売上総利益	百万円	4,751	3,974	+19.5%	—	—
営業利益	百万円	1,650	1,200	+37.5%	—	—
経常利益	百万円	1,679	1,218	+37.9%	1,628	+3.2%
当期純利益	百万円	833	537	+55.1%	766	+8.8%
当期純利益／株	円	102.97	66.37	+55.1%	94.67	+8.8%
経常利益率	%	8.3	6.3	+2.0P	—	—

2002年3月期(2001/4～2002/3)

顧客別グループ内外別売上高(連結)

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

■セゾングループ外 売上高で前期比23.5%増、同構成比で前期比5.2ポイント増の39.2%となる。

顧客別 グループ内外別 売上高	当期(2002/3)		前期(2001/3)		備考 (主な増減要因等)
	A 売上高 (百万円)	構成比 %	A 売上高 (百万円)	構成比 %	
セゾングループ内	12,665	60.8%	12,790	66.0%	開発、機器等増。 処理、開発、機器増。 処理(業務代行)等減。
クレディセゾン	5,765	27.7%	5,024	25.9%	
西友	2,791	13.4%	2,240	11.6%	
西武百貨店	1,995	9.6%	2,666	13.7%	
その他グループ内	2,112	10.1%	2,860	14.7%	
グループ外	8,154	39.2%	6,603	34.0%	十合、HULFT、Bulas増。
合 計	20,820	100.0%	19,393	100.0%	

2002年3月期(2001/4～2002/3) セグメント別売上高(連結)

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

セグメント別 売上高	当期(2002/3)		前期(2001/3)		備考 (主な増減要因等)
	A 売上高 (百万円)	構成比 %	A 売上高 (百万円)	構成比 %	
情報処理サービス	9,078	43.6%	8,680	44.8%	十合、Bulas増。BSA再編減(注1)、長野撤退減。 十合、クレディ、Bulas増。 外注依存型SI縮小。 HULFT増。
ソフトウェア開発	4,875	23.4%	4,961	25.6%	
パッケージ販売	2,656	12.8%	2,231	11.5%	
通信サービス	2,103	10.1%	2,317	11.9%	市外通話割引前期撤退、 ネットワーク構築減。 サーバー機、大型機、ポイントカード機器増。
システム・機器販売	2,105	10.1%	1,200	6.2%	
合 計	20,820	100.0%	19,393	100.0%	

(注1)BSA(株式会社ビジネスシステムエージェンツ)が前下期から連結対象から外れたため、減収となったものです(P12ご参照)。

2002年3月期(2001/4～2002/3) セグメント別売上総利益率(連結)

- 情報処理サービス 無停電電源投資に伴う施設管理費発生[-0.6P]、一部部門の販管から原価への移行[-0.8P]。他方でマシン稼働率向上と経費削減による改善[+1.2P]。
- ソフトウェア開発 外注費削減と社員稼働率向上[+10.7P]、仕掛増減[- 3.7P]。
- パッケージ販売 検査・品質・技術サポート強化[- 3.4P]、他方で売上増が利益増に貢献[+2.9P]。
- 通信サービス 市外通話割引撤退[+9.5P]。インターネット接続機能強化[-2.4P]。経費削減[+2.9P]。
- システム・機器販売 売上大幅増も、利益率の低い大型案件あり[-3.7P]。

セグメント別 売上総利益率	当期(2002/3)			前期(2001/3)		
	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	A/B %	A 売上高 (百万円)	B 売上総利益 (百万円)	A/B %
情報処理サービス	9,078	2,151	23.7%	8,680	2,073	23.9%
ソフトウェア開発	4,875	556	11.4%	4,961	218	4.4%
パッケージ販売	2,656	2,001	75.3%	2,231	1,692	75.8%
通信サービス	2,103	233	11.1%	2,317	26	1.1%
システム・機器販売	2,105	233	11.1%	1,200	177	14.8%
合 計	20,820	5,176	24.9%	19,393	4,186	21.6%

(注) この売上総利益は、管理会計の数値です。

2002年3月期(2001/4~2002/3) 販売費及び一般管理費(連結)

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.



販売費及び 一般管理費		当期(2002/3)		前期(2001/3)		備 考
		A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
人件費		2,155	10.4%	1,940	10.0%	HULFT,Bulas等営業強化。 サンシャイン事業所新設。 Webマーケティングにシフト。 Javaコンポーネント研究等。
借家料等		259	1.2%	175	0.9%	
広告宣伝費		235	1.1%	239	1.2%	
減価償却費		85	0.4%	85	0.4%	
試験研究費		109	0.5%	30	0.2%	
その他		481	2.3%	452	2.3%	
販売費及び 一般管理費		3,327	16.0%	2,923	15.1%	営業及びR&Dの強化により、前比13.8%増、構成比0.9ポイント増となった。

2002年3月期(2001/4～2002/3)

外注費(連結)

外注費(注1)	当期(2002/3)			前期(2001/3)			備 考
	A. 売上高 (百万円)	B. 外注費 (百万円)	B/A %	A. 売上高 (百万円)	B. 外注費 (百万円)	B/A %	
情報処理サービス	9,078	924	10.2	8,680	1,013	11.7	BSA外注分の表面化(注1)。 オープン系外注の内製化(注2)。 外注依存売上縮小。組織再 編による社員稼働率向上。
ソフトウェア開発	4,875	1,507	30.9	4,961	2,290	46.2	
パッケージ販売	2,656	67	2.5	2,231	65	2.9	
通信サービス	2,103	9	0.5	2,317	—	—	
システム・機器販売	2,105	—	—	1,200	—	—	
合 計	20,820	2,509	12.1	19,393	3,369	17.4	

(注1) 前上期において、当社からBSA(株)ビジネスシステムエージェント)への外注費(情報処理サービス)は、連結時に相殺されていました。前下期以降、同社株式の売却に伴い同社が連結除外となった(P12ご参照)ため、同社向けの外注費は相殺対象から外れ、表面化しました。本件は、連結外注費の増加要因となっております。

(注2) オープン系の情報処理オペレーションについて、前期までは当社は当社グループ外に外注しておりましたが、当期よりコストパフォーマンスの観点から、連結子会社の(株)ファシリティエクスパートサービスズに切替えました。

2002年3月期(2001/4～2002/3)

営業外収支・特別損益(連結)

営業外収支・ 特別損益		当期(2002/3)		前期(2001/3)		備 考
		A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	A 金額 (百万円)	売上高 構成比 %	
営業外収益	営業外収益	33	0.2%	26	0.1%	世田谷ビル賃貸開始。
	営業外費用	5	0.0%	9	0.0%	
営業外収支		27	0.1%	17	0.1%	
特別利益	投資有価証券売却益	1		1,926		
	その他	—		2		
特別利益		1	0.0%	1,929	9.9%	
特別損失	固定資産処分損	155		112		建物附属設備除却等。 ゴルフ会員権処理。
	貸倒引当金繰入額	26		—		
	投資有価証券評価損	16		82		前期に一括償却済。
	退職給付会計基準変更時差異	—		2,001		
	その他	11		2		
特別損失		208	1.0%	2,197	11.3%	
特別損益		-207	-1.0%	-268	-1.4%	

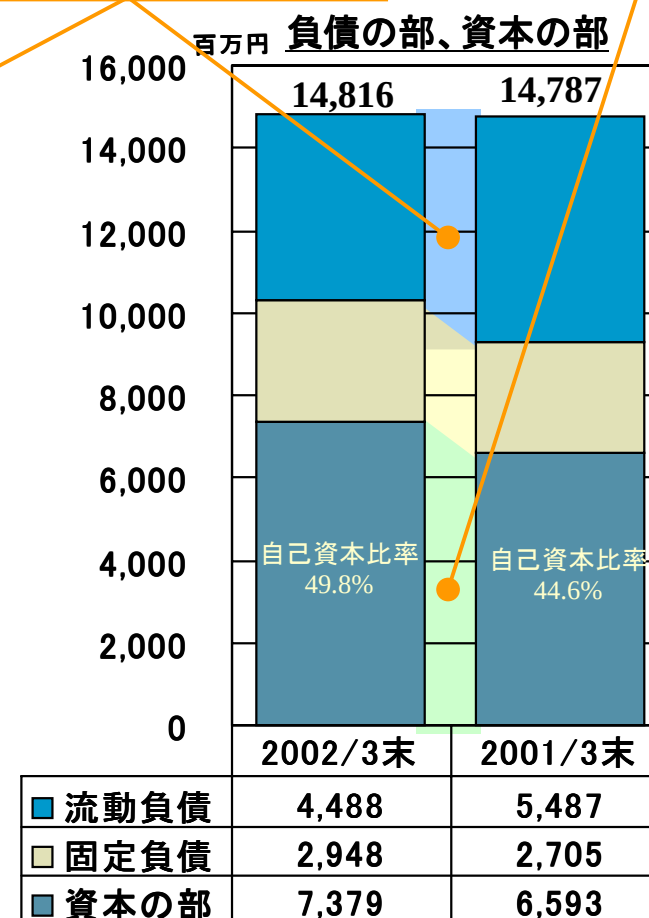
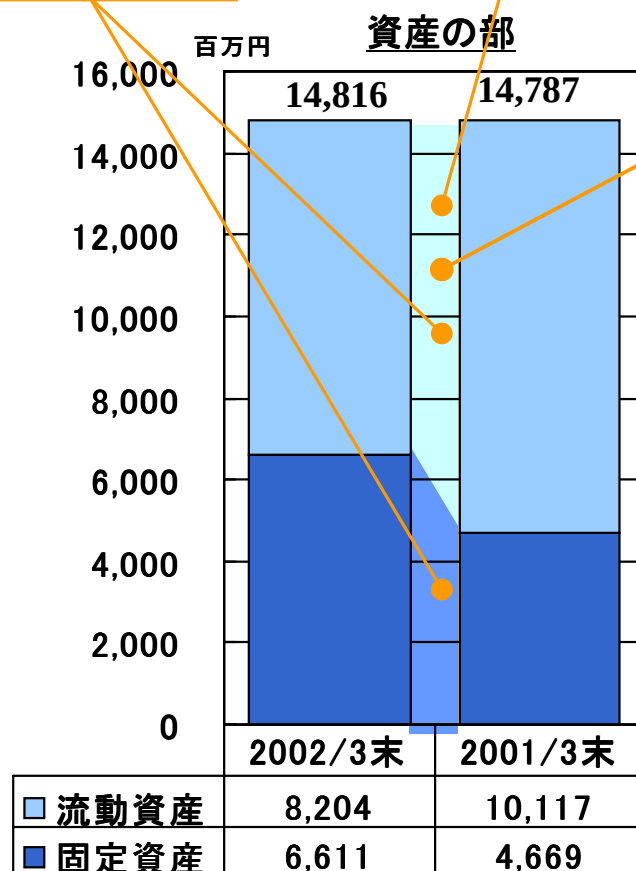
2002年3月期(2002/3末) 貸借対照表(連結)

■西武百貨店株式購入
(1,294百万円)
→現預金が減少、
投資有価証券が増加。

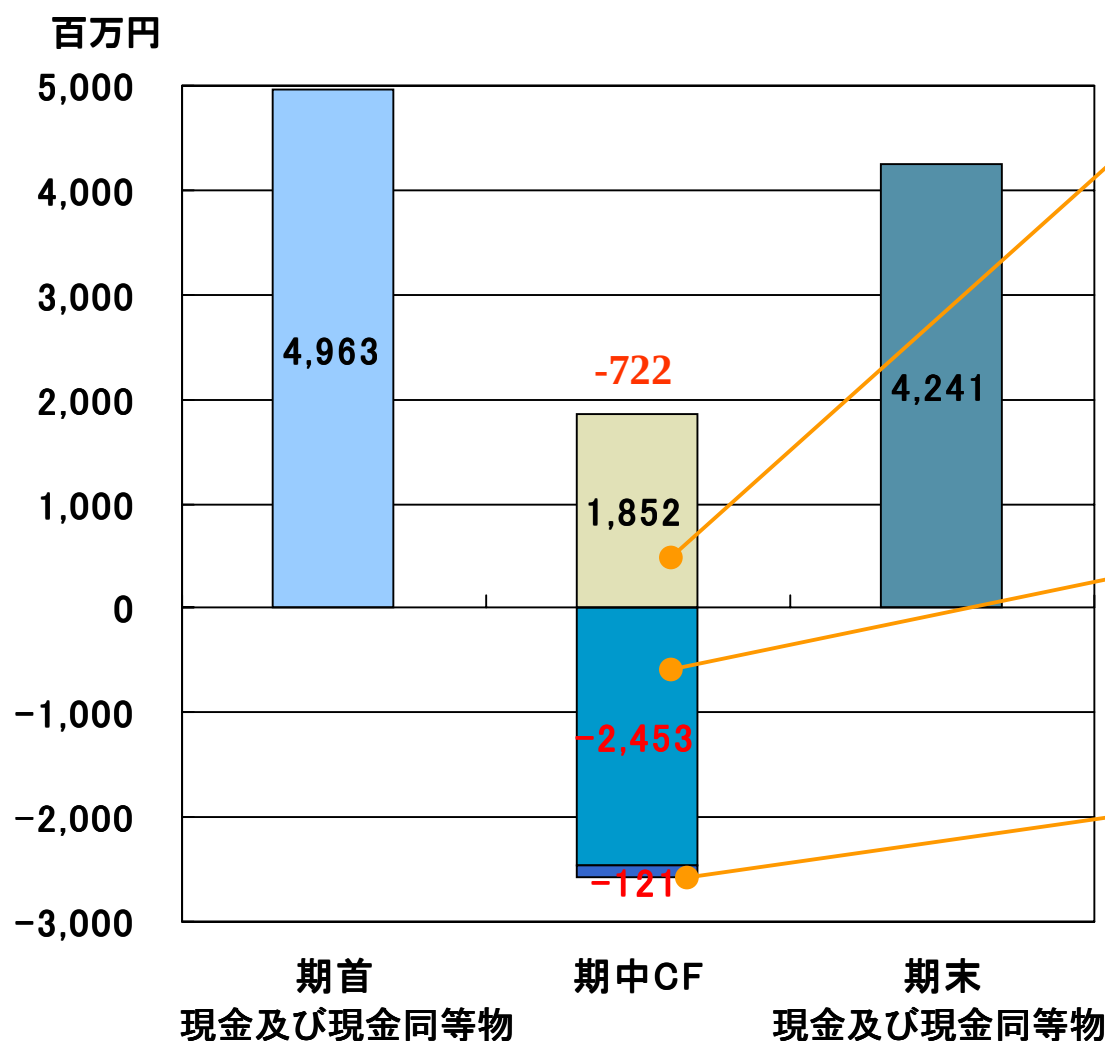
■渋滞債権解消。
→売掛金減、現預金増。

■税金の支払(前期の
株式売却益分等)
→未払法人税等が減少、
現預金が減少。

■剰余金増。



2002年3月期(2001/4~2002/3) キャッシュ・フロー(連結)



営業活動によるCF:

税金等調整前当期純利益[1,669]
減価償却費[422]
固定資産処分損[155]
賞与引当金[49]
退職給付引当金[236]
売上債権[1,028]
たな卸資産 [82]
仕入債務[-554]
法人税等支払[-1,694] 等

投資活動によるCF:

投資有価証券取得[-1,294]
有形固定資産取得[-915]
その他の投資の取得[-261]等

財務活動によるCF:

配当金支払[-121]

2002年3月期(2001/4～2002/3) 連結子会社の概況

(2002年3月末現在)

社 名	事 業 内 容	資本金 百万円	持 株 比 率	当期 売上高 百万円	備 考
株式会社 流通情報 ソリューションズ	流通業向け 情報サービス	90	100%	1, 870	2001年5月、資本金を40百万 円から90百万円に増資。 6月より、株式会社十合向けの アウトソーシングを同社を通じ て受託。
株式会社 ファシリティ エキスパート サービスズ	情報処理 オペレーション サービス	60	100%	716	

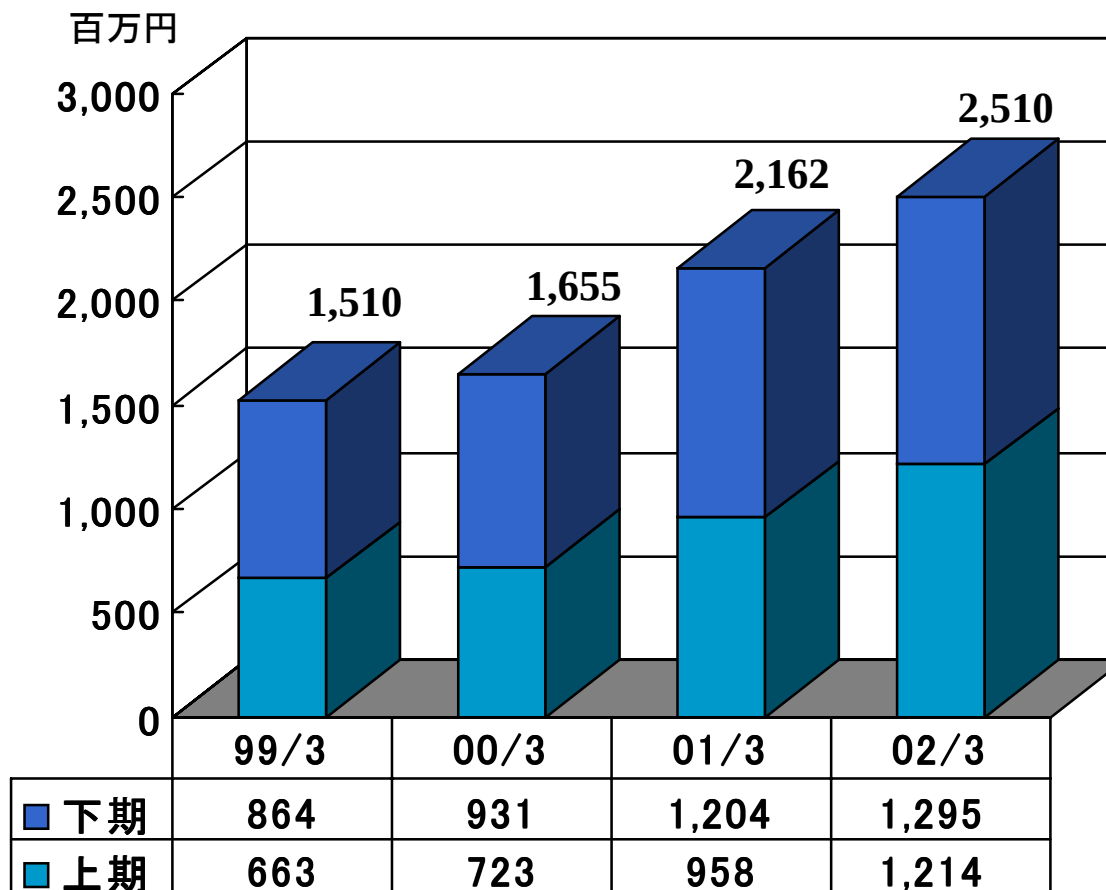
※前上期までは、当社は株式会社ビジネスシステムエージェンツ(業務代行サービス)の株式を100%保有
していましたが、株式売却により前期末の持株比率は5%となり、同社は前下期より連結対象から外れま
した。

■ 事業の推進状況について

当社の花形商品《HULFT》 上期下期別売上高の推移

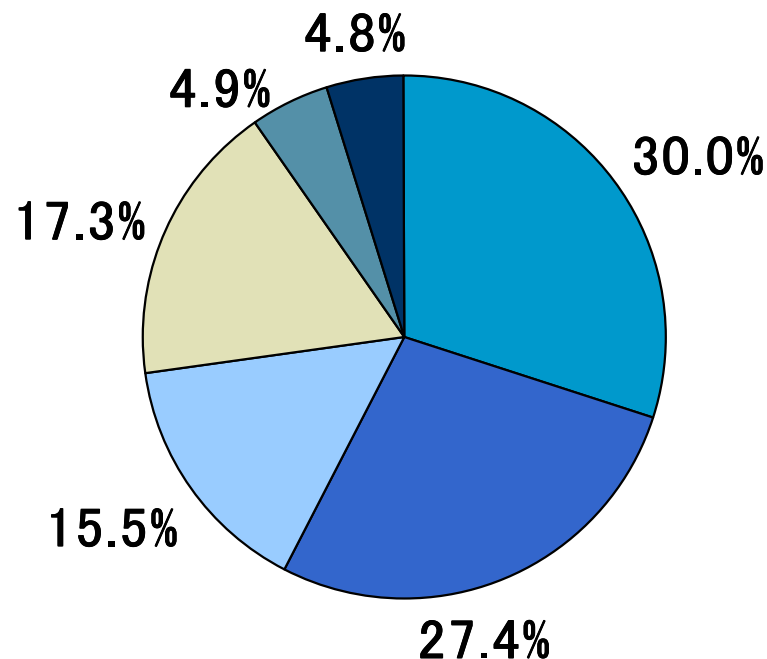


「HULFT」は、当社が開発・販売するオープンネットワーク上での異機種間ファイル転送を自動化する通信ミドルウェアです。国内では圧倒的なシェアを有し、①基幹系システムと情報系システムの連携、②企業統合・再編、③SCM(サプライチェーンマネジメント)、④データウェアハウスの構築とデータマイニングへの活用、⑤ERPとの連携など、様々なデータ連携が必要とされる局面において、「ファイル転送ならHULFT」とデ・ファクト・スタンダードに位置付けられております。



当社の花形商品《HULFT》 ユーザ業種別売上比率と売上伸び率

HULFTユーザ業種別売上状況
2002/3期

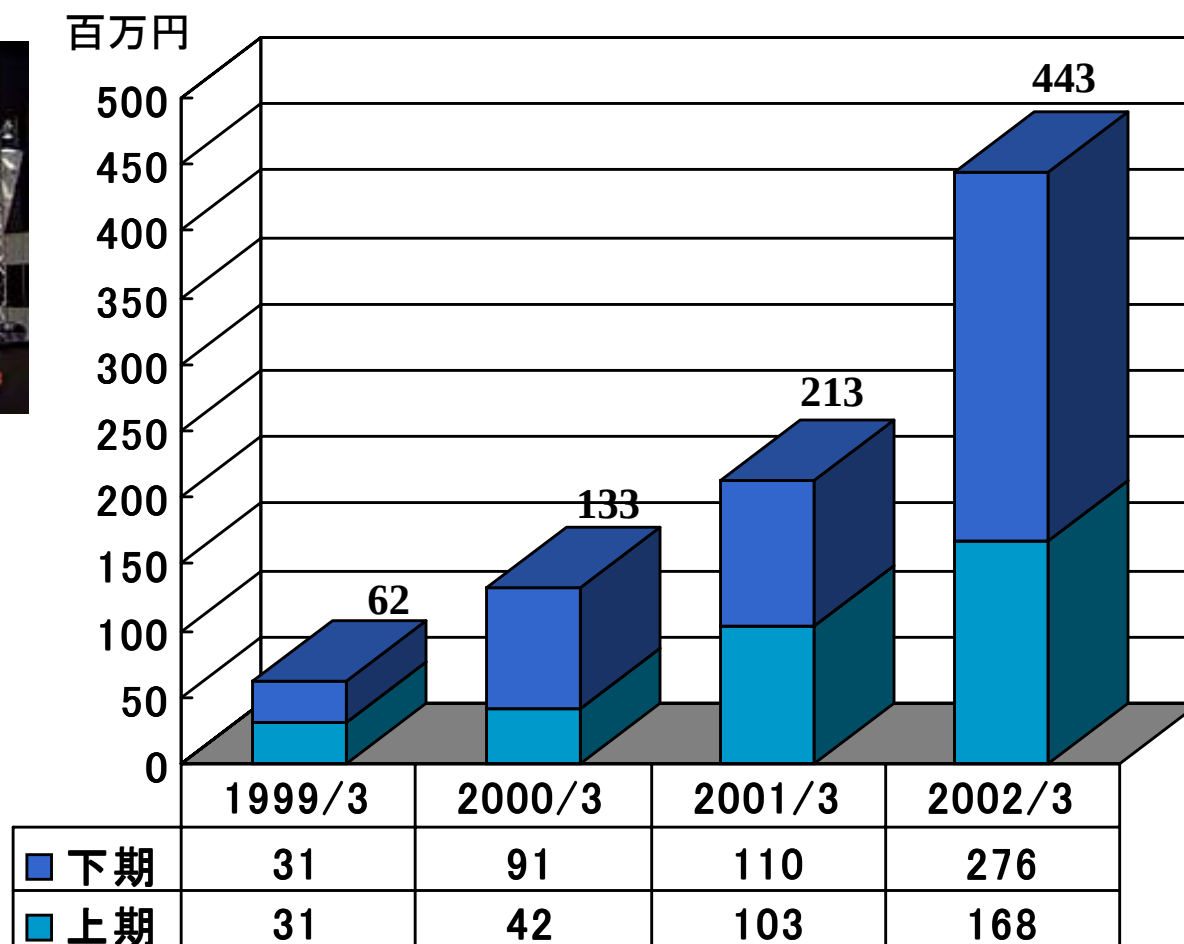


業種	(対前期増減率)
情報・通信	(+1.1%)
製造	(+15.9%) 自動車が増のほか、電機・食 料品など各分野とも 増加。
流通・サービス	(+18.6%) 流通で43%増加。
金融	(+1.5%) 銀行が20%増で金融の約6割。
その他	(-9.2%)
ディストリビュータ 経由	(+6.1%) ディストリビュータ経由の店頭販売・ 通信販売が比率は小さいものの増 加。ユーザ業種は不明。

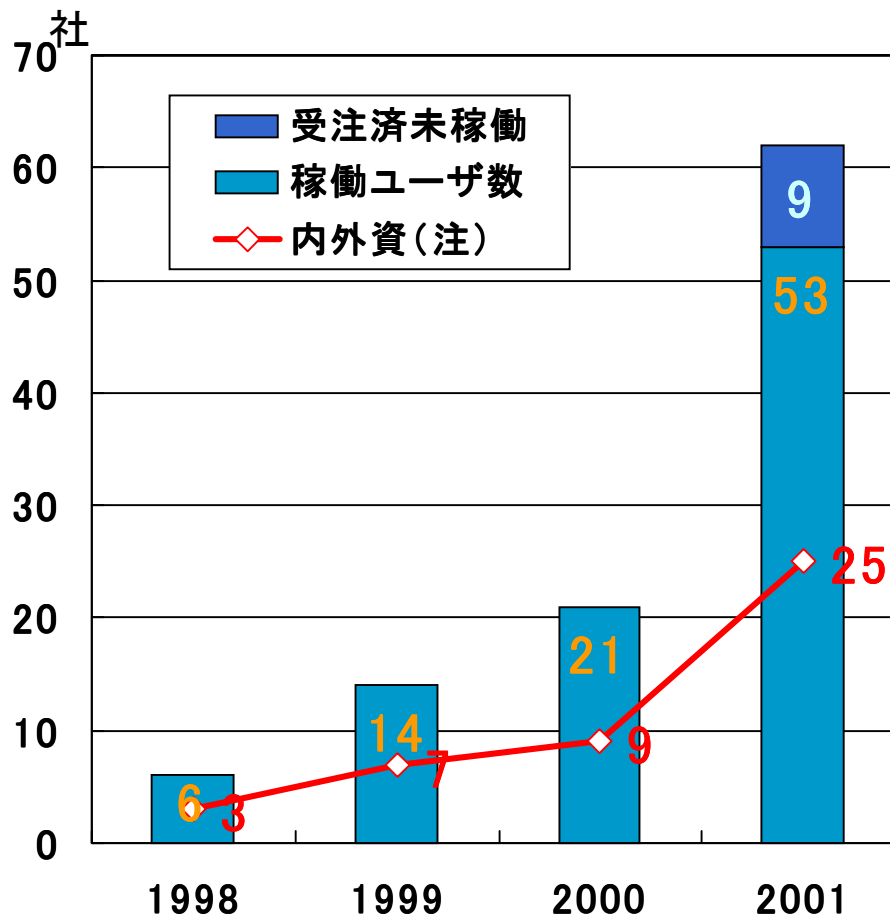
次の花形を狙うサービス《Bulas》 売上の推移



「Bulas」は、当社の設立（1970年）以来行なってきた主としてセゾングループ向けの給与業務アウトソーシングサービスを、1998年から一般市場向けに汎用化し展開しているアプリケーション・サービスです。このページの売上高には、従来型のセゾングループ向けの売上を除いております。



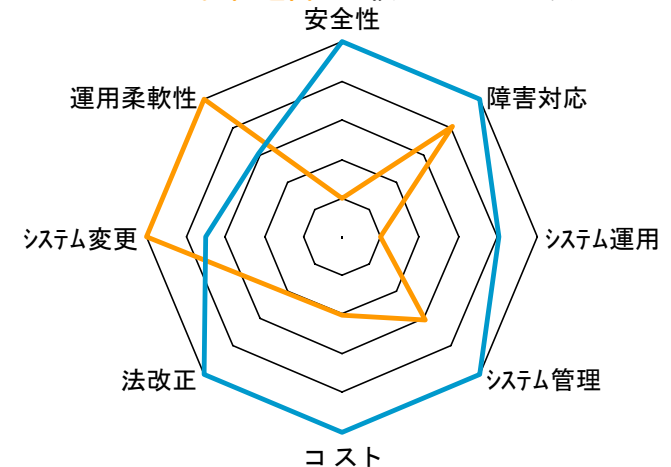
次の花形を狙うサービス《Bulas》 稼働ユーザ数の推移



(注)「内外資」は、稼働ユーザ数と受注済未稼働ユーザ数の合計の内数を示しています。

- 営業強化が奏効し顧客開拓加速。
- 外資系企業からの受注が活発。下期には、外資金融機関系ユーザが複数稼働し、売上大幅増に大きく貢献。

Bulasの自社運営と比較したときのメリット



自社内でシステム管理者を確保し、よりフレキシブルなシステム運用を求めるなら自社運営、柔軟性を多少犠牲にしても専用要員なしで経済性と安全性を確保したいならばBulas(アウトソーシング)、と私たちは考えます。

■ 情報・ソフト業界の中での位置付け

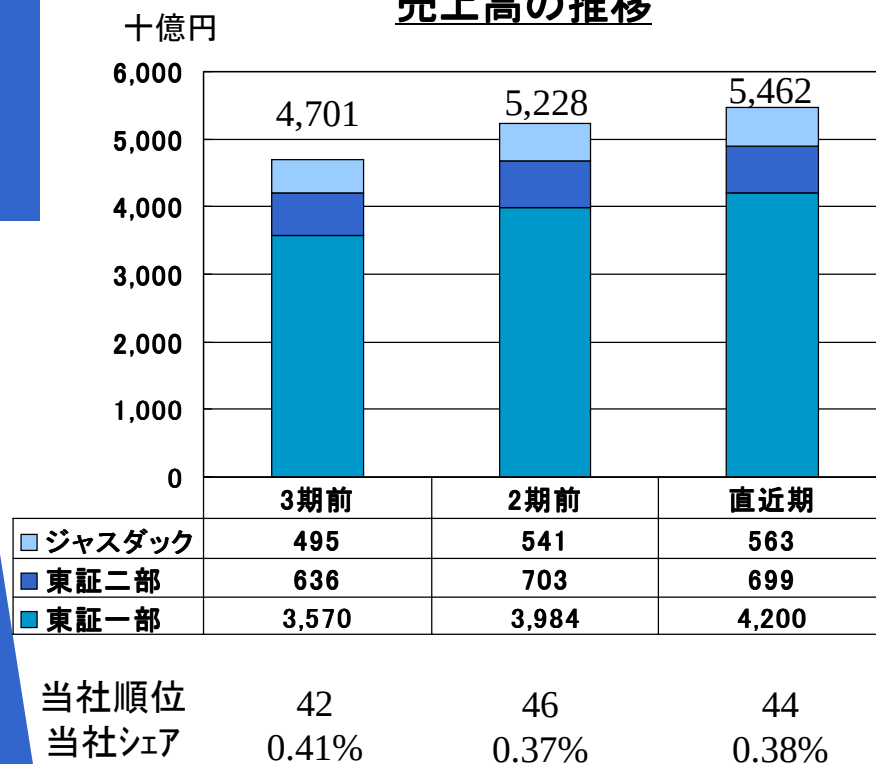
情報・ソフト業界の中での位置付け

連結売上高

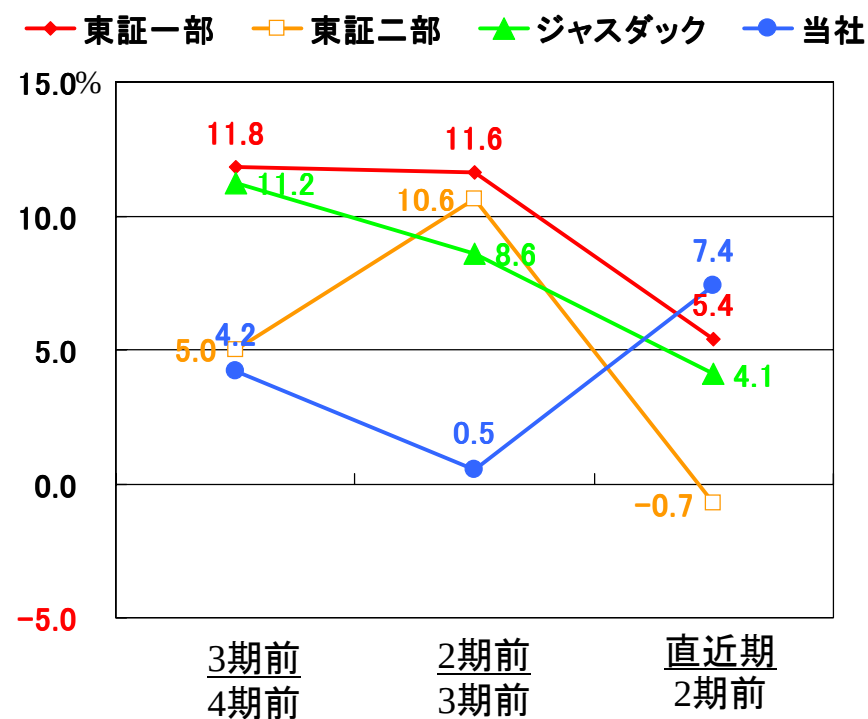


■「事業構造改革」のため、2期前までは売上高成長率が低迷していたが、2002年3月期は、事業構造を改善した上で同業他社以上の成長を達成した。

売上高の推移



売上高の対前期増減率



東証一部34社、東証二部17社、ジャスダック63社、合計114社を連結ベースで当社が集計。

(注) 合計の対前期増減率は、新規上場会社の実績を調整して算出。

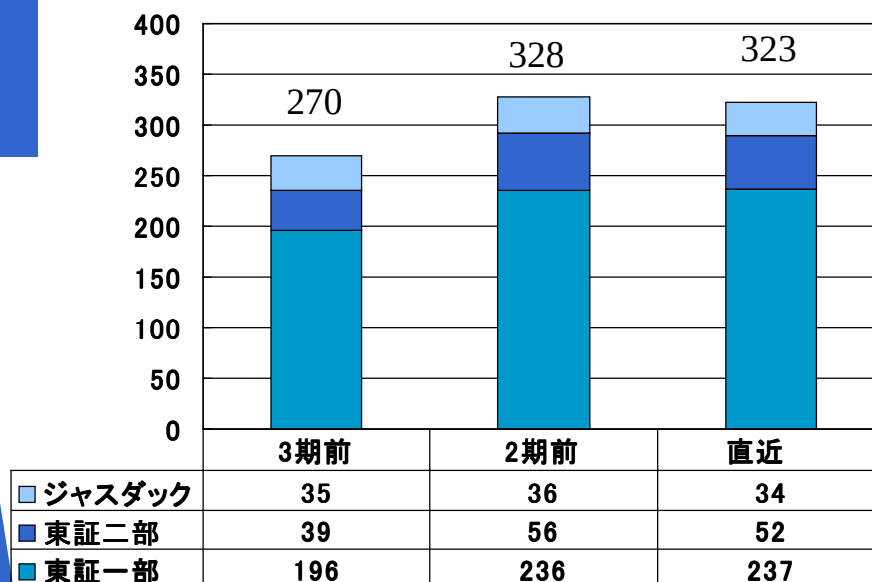
情報・ソフト業界の中での位置付け

連結経常利益



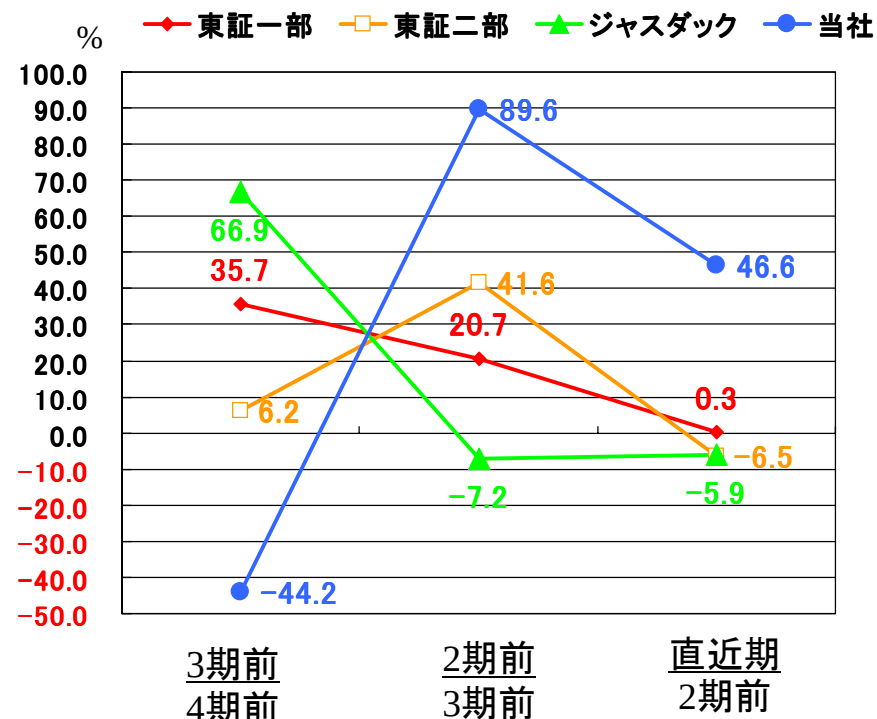
■当社は、3期前(2000/3期=Y2Kの年度)に利益を大きく落としたが、その後、成長性と収益性の高い事業にシフトすることにより、同業他社を大きく上回る経常利益成長を達成した。

十億円 経常利益の推移



当社順位 64 48 37
 当社シェア 0.25% 0.39% 0.58%

経常利益の対前期増減率



東証一部34社、東証二部17社、ジャスダック63社、合計114社を連結ベースで当社が集計。

(注) 合計の対前期増減率は、新規上場会社の実績を調整して算出。

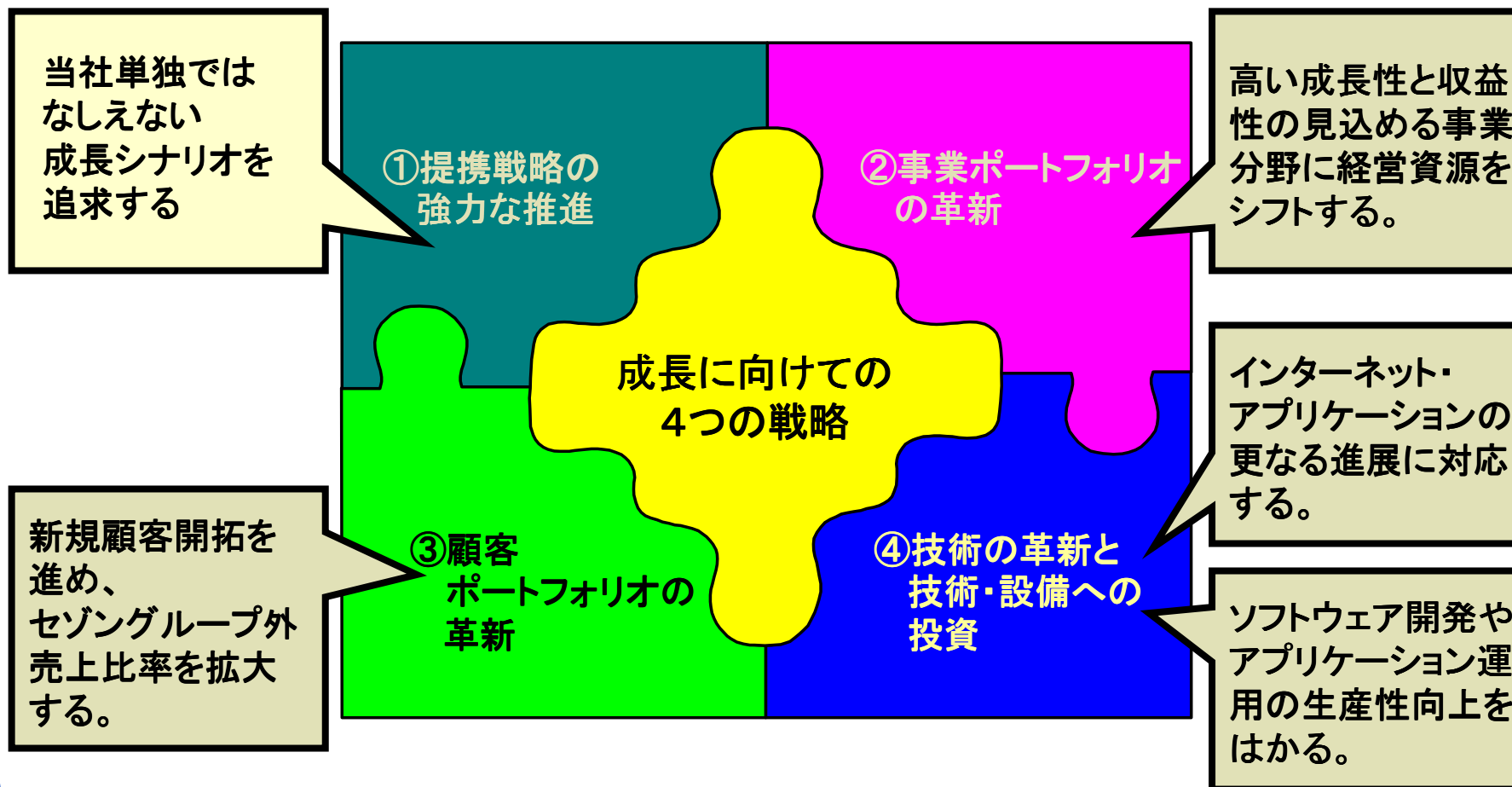
■ 中期目標(2003/3期～2005/3期)

2003年3月期～2005年3月期中期 中期経営数値目標(連結)

中期経営数値 目標	2002/3期 実績	2005/3期 計画	前回発表中期計画 (2001/5/25決算短信) との比較
売上高	20,820百万円	25,000百万円	250億円を1年遅らせた。
経常利益	1,876百万円	2,500百万円	大幅上方修正。
経常利益率	9.0%	10.0%	大幅上方修正。
セゾングループ外売上比率	39.2%	48.0%	ほぼ前回通り。
ROE	13.6%	現状維持	上方修正。
ROA	12.7%	15.0%	大幅上方修正。

2003年3月期～2005年3月期中期 選択と集中による4つの成長戦略

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.



資本政策の考え方

基本方針

1. 当社各事業の展開スピードを高めるための資本提携を背景にした戦略的提携も積極的に検討。
2. 流動活性化。



決定済事項

- A. 自己株式取得枠の設定
(50万株、10億円)。
(2002年6月27日開催の第33期定時株主総会に付議)。
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能にすることが当社の目的。
- B. 1単元の株式の数を1,000株から100株にくくり直し。
(2002年8月1日より)。

①提携戦略の強力な推進

(株)インテリジェントウェイブとの業務提携

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.



アライアンス



想定する協業分野

1. グローバル市場を展望した金融ビジネス向けシステム事業の共同展開。
2. インターネット決済・認証等セキュリティ分野での共同事業の追求。
3. 両社のパッケージソフトウェア、ミドルウェアの連携ソリューションや新製品の共同開発・販売。

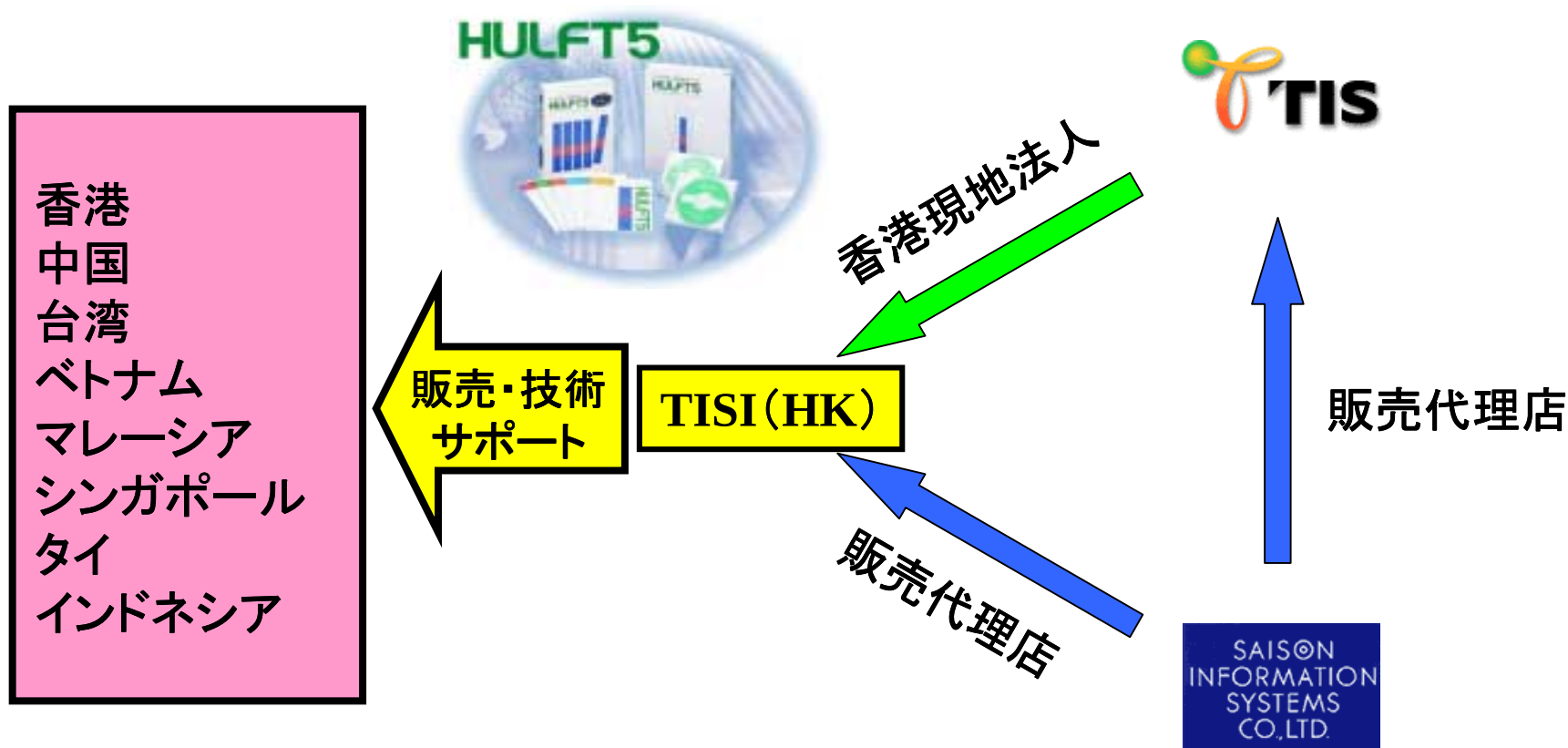
進め方

アライアンスコミッティ
「ISAC」(アイザック)
を設置し、
具体的な取組を
検討中。

TISグループとアジア地域で協業



アジア地域サポートサービス(2002年4月～)



2002年度組織

5事業部2センター、2子会社による展開

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT事業部

Bulas事業部

金融システム事業部

流通システム事業部

システムインテグレーション事業部

システムセンター

システム技術センター

管理・スタッフ部門他

■Bulasの顧客開拓実績を背景に、
将来に向けてさらなる事業の発展
を期すため、事業部として独立。

■「流通システム事業部」のうち、
百貨店業態向けシステム機能を、
100%子会社の「株式会社流通情報
ソリューションズ」に 統合。

株式会社流通情報ソリューションズ

株式会社ファシリティエキスパートサービス

HULFTの今後の展開

新市場の開拓

技術的 新市場

SAN
(ストレージ・エリア・ネットワーク)

メッセージング

産業分野 新市場

電子政府市場

地銀共同センター市場

地域的 新市場

グローバル市場

投資と強化ポイント

新製品・新バージョン
を続々準備中。

HULFTと
他社ミドルウェアを
組み合わせた
ミドルウェアソリュー
ションの強化。

技術サポート・
検査・品質管理等
をさらに強化。

Bulasの今後の展開

Bulasをとりまく背景

期待を上回る成長
(顧客開拓・売上・処理量)

【マーケットの状況】

- アウトソーシングに躊躇のない外資系企業
- 日本企業でもコア事業以外のアウトソーシング需要の高まり
- シェアードサービスの一環としてのBulas利用検討(複数例)

今後の展開・投資

BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)ビジネスとしての一大発展を期す。

A. Bulas事業部の新設
(2002年4月～)

B. 事業をより拡大するための戦略の策定

C. システム投資

プロセス改善

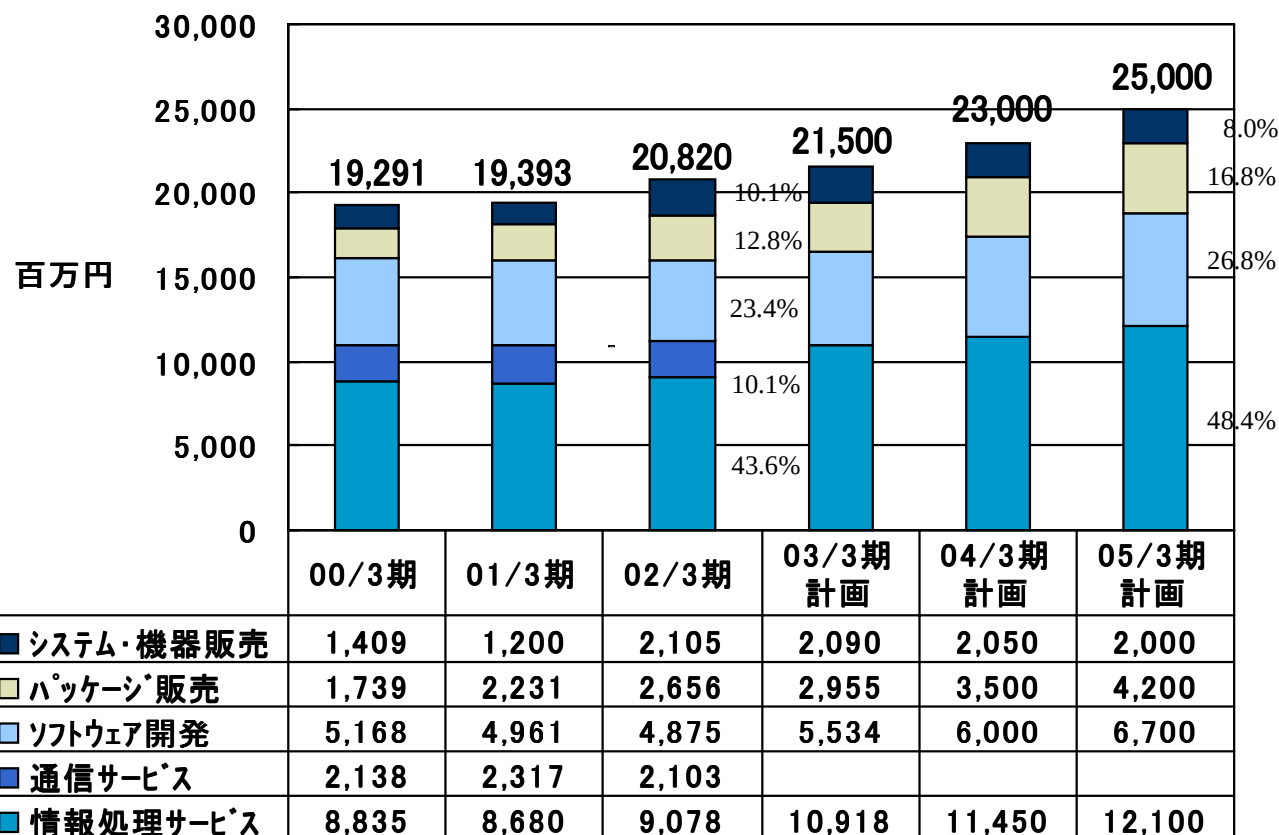
新システム構築

②事業ポートフォリオの革新

2003年3月期～2005年3月期中期目標 連結セグメント別売上高



- 収益性の高い「パッケージ販売」を年率19%で伸ばし、売上構成比を高める。
- 「Bulas」顧客開拓や「金融」「流通」業界再編対応等で「情報処理」「ソフトウェア開発」を安定的に拡大する。



(注1) 2002/3期まで「パッケージ販売」に計上していた他社パッケージ製品販売を、2003/3期以降は「システム・機器販売」に計上する。過去の相当額は、00/3期84百万円、01/3期69百万円、02/3期146百万円。

(注2) 「通信サービス」は、回線再販、市外通話割引サービス、内線電話サービス等が歴史的な役割を終えたため、2003/3 30期より、継続サービスを「情報処理サービス」に、ネットワーク構築を「ソフトウェア開発」に計上し、セグメントを廃止する。

③顧客ポートフォリオの革新

2003年3月期～2005年3月期中期目標

顧客戦略

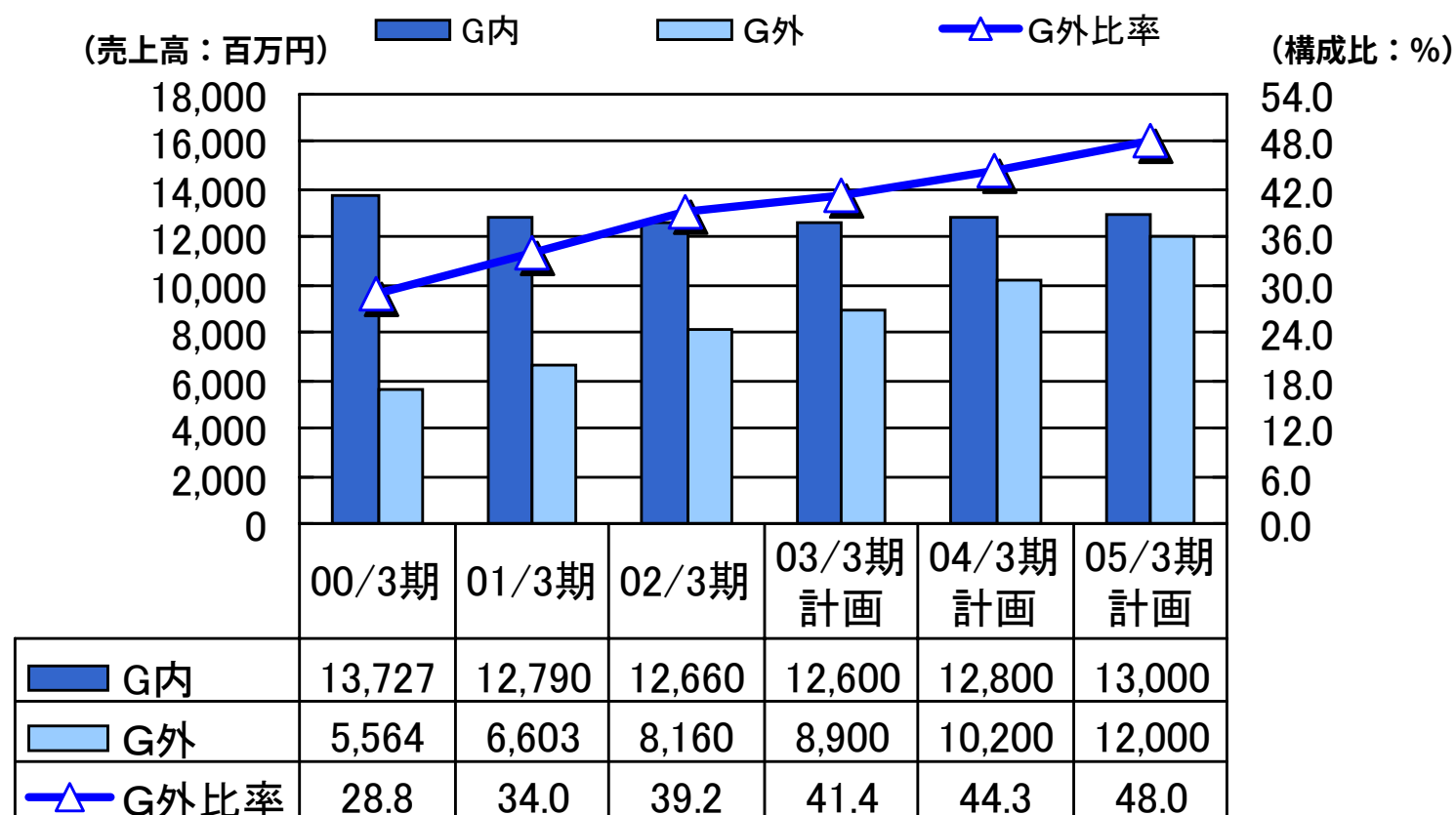


■新しい中期目標

■《ご参考》 従来の中期目標

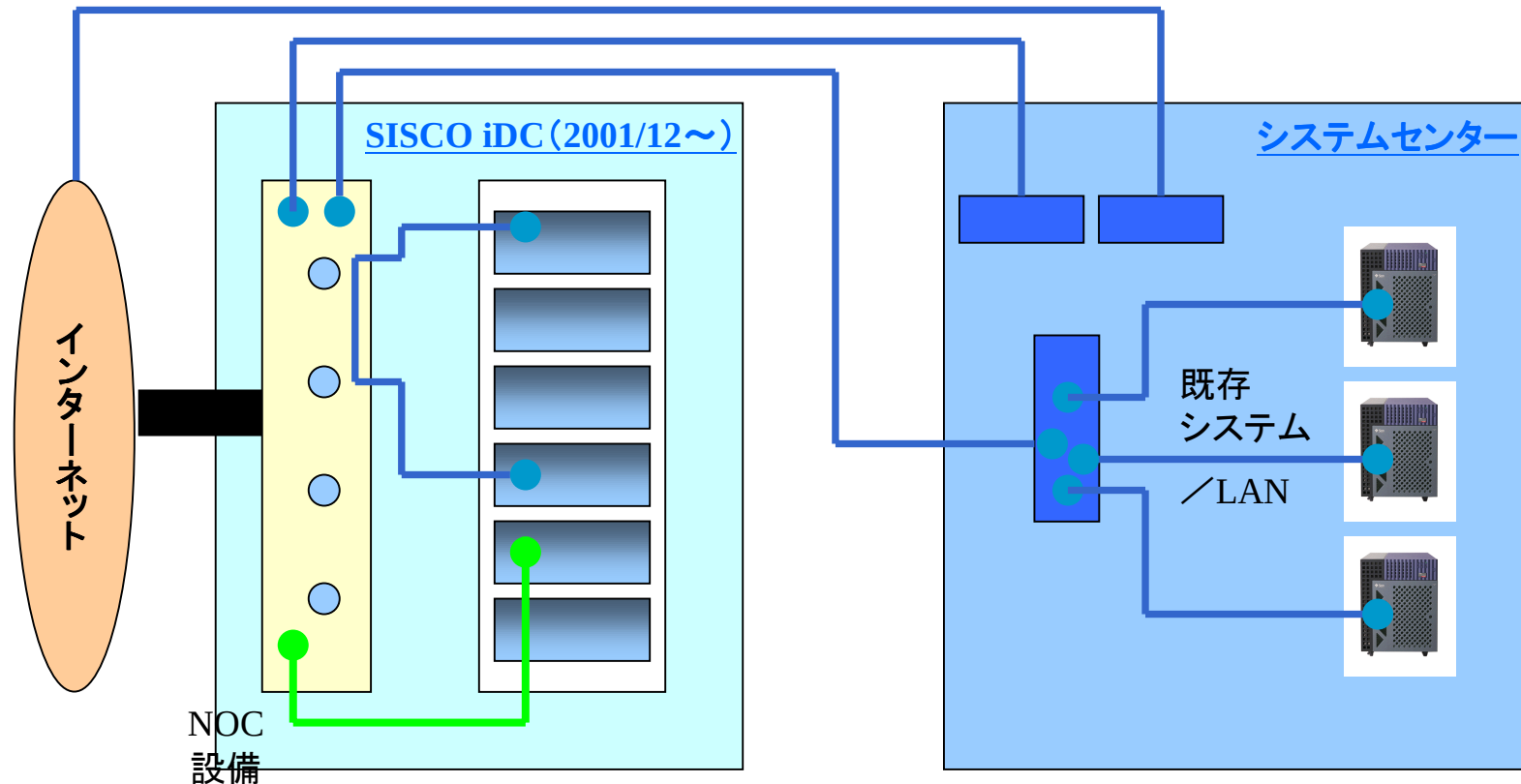
2005年3月期 売上高250億円。セゾングループ外比率48%。

2004年3月期 売上高250億円。セゾングループ外比率44%。

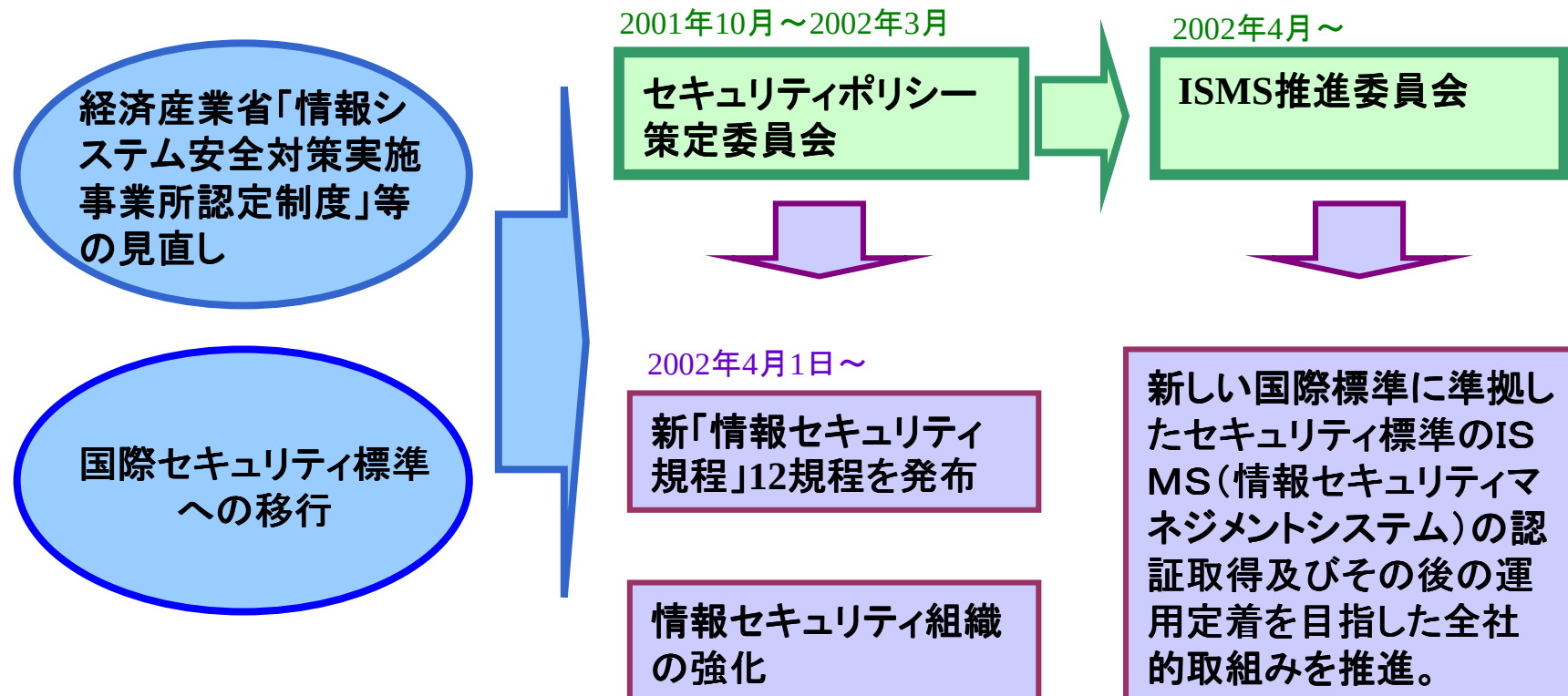


インターネット・コネクティビティを強化する データセンター

- インターネット・アプリケーションの増加に対応し、インターネット・コネクティビティ設備の「SISCO iDC」を新設し、2001年12月よりサービス開始。
- 多大な投資は避け、「SISCO iDC」と「システムセンター」を接続し、インターネット・フロント処理は「SISCO iDC」で、既存システムやストレージは「システムセンター」で行ない、連携する。



情報セキュリティのマネジメント体制強化



⑤経営指標

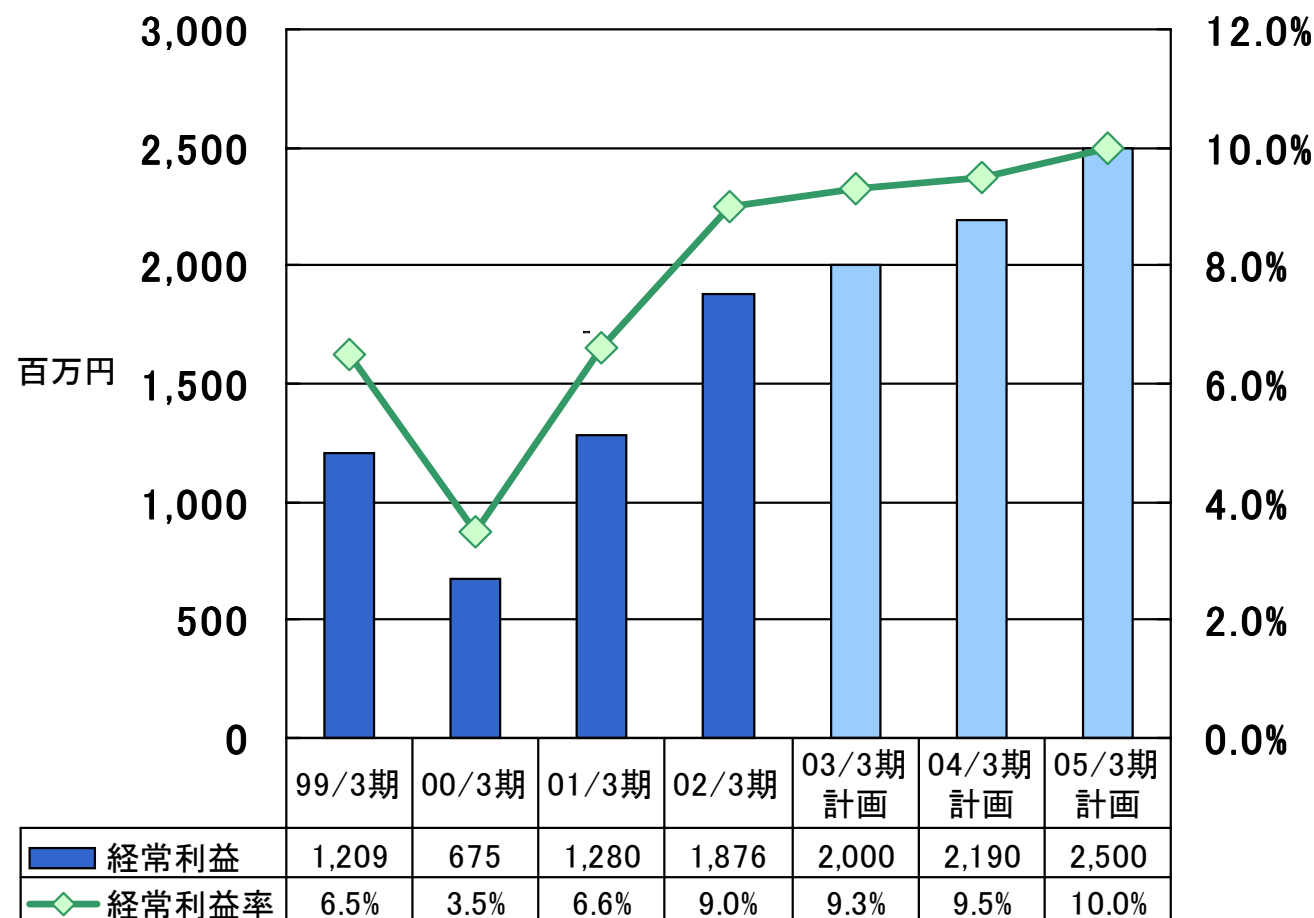
2003年3月期～2005年3月期中期目標

経常利益と経常利益率（連結）



- 新しい中期目標
- 《ご参考》 従来の中期目標

2005年3月期 経常利益25億円、経常利益率10%。
2004年3月期 経常利益19.3億円、経常利益率7.7%。



⑤経営指標

2003年3月期～2005年3月期中期目標

連結ROE・連結ROA

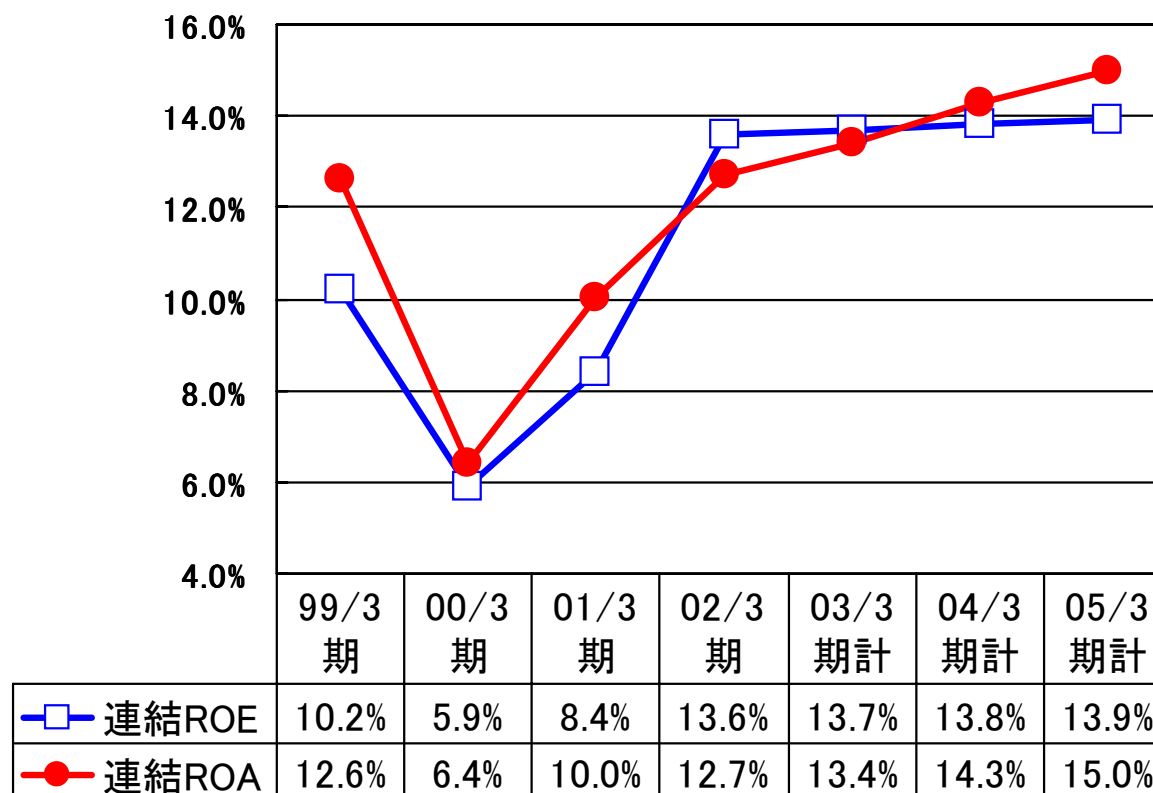


■新しい中期目標

■《ご参考》従来の中期目標

連結ROE
連結ROA
連結ROE
連結ROA

現水準の維持。
15% (2005年3月期)。
12.1% (2004年3月期)
11.9% (2004年3月期)。



2003年3月期業績予想

2003年3月期 業績予想(連結・個別)

- **連結増収** 連結で+3.3%の増収。個別の売上高は、百貨店業態向けシステム事業の株流通情報ソリューションズへの統合で横這いを見込む。
- **最高益** 各利益とも最高益更新を目指す。連結経常利益は20億円、同当期純利益は+14.3%増、同経常利益率で0.3ポイント改善を予想。

		連 結			個 別		
		A 今期 2003/3	B 前期 2002/3	A/B-1 対前期 増減率	a 今期 2003/3	b 前期 2002/3	a/b-1 対前期 増減率
売上高	百万円	21,500	20,820	+3.3%	20,071	20,150	- 0.4%
売上総利益	百万円	5,547	5,176	+7.2%	5,053	4,751	+6.4%
営業利益	百万円	1,968	1,849	+6.5%	1,758	1,650	+6.6%
経常利益	百万円	2,000	1,876	+6.6%	1,798	1,679	+7.1%
当期純利益	百万円	1,083	947	+14.3%	968	833	+16.1%
当期純利益／株	円	133.80	117.04	+14.3%	119.56	102.97	+16.1%
経常利益率	%	9.3	9.0	+0.3P	9.0	8.3	+0.7P

2003年3月期 上期下期別の計画(連結)

	上 期		下 期		通 期	
	金額 (百万円)	対前上期 増減率 %	金額 (百万円)	対前下期 増減率 %	金額 (百万円)	対前期 増減率 %
売上高合計	10,180	+1.2%	11,320	+5.2%	21,500	+3.3%
情報処理サービス(注1)	5,380	+1.9%	5,537	- 2.2%	10,918	- 0.2%
ソフトウェア開発(注1)	2,402	- 2.5%	3,132	+18.2%	5,534	+8.2%
パッケージ販売(注2)	1,356	+11.7%	1,599	+23.3%	2,955	+17.7%
システム・機器販売(注2)	1,040	- 5.3%	1,050	- 8.8%	2,090	- 7.1%
経常利益	800	- 3.9%	1,200	+15.0%	2,000	+6.6%
当期純利益	410	+8.8%	672	+18.0%	1,083	+14.3%

(注1)「通信サービス」は、回線再販、市外通話割引サービス、内線電話サービス等が歴史的な役割を終えたため、2003/3期より、継続サービスを「情報処理サービス」に、ネットワーク構築を「ソフトウェア開発」に移管し、セグメントを廃止する。2002/3期における「情報処理サービス」への移管相当分は1,865百万円、「ソフトウェア開発」への移管相当分は237百万円であり、これら移管相当分を調整して対前期増減率を算出した。

(注2) 2002/3期まで「パッケージ販売」に分類していた他社パッケージ製品販売を、2003/3期以降は「システム・機器販売」に移管する。2002/3期における移管相当分は146百万円であり、これら移管相当分を調整して対前期増減率を算出した。



《 お問い合わせ先 》

(株)セゾン情報システムズ 経営企画部 IR担当窓口

171-0014 東京都豊島区池袋2-65-18

Phone: 03-3988-3477 Fax: 03-3988-7513

email kikaku@saison.co.jp

<http://home.saison.co.jp/SIS/>